

和歌山県内水面漁業振興計画（案）【概要版】

本県の内水面漁業を取り巻く現状

- ・内水面漁業生産においては、生息環境の変化やカワウ等の食害などが問題 ⇒生育環境の保全、資源回復に向けた取組が必要
- ・アユ養殖生産量は全国トップクラス(R1:584t、3位)だが、魚価低迷等により経営体は減少(H20:17者→H30:9者) ⇒収益向上の取組が必要
- ・漁協組合員の高齢化・減少(H26:7,046人→R1:5,627人)が進展 ⇒漁協組合員の育成・確保が必要
- ・県内外から多くの遊漁者が来訪しているが、近年減少傾向(H26:12,246人→R1:9,645人※アユ) ⇒新たな遊漁者の獲得が必要

和歌山県内水面漁業振興計画

- 目的 本県の内水面漁業の振興を図るため、「内水面漁業の振興に関する法律」及び国の「内水面漁業の振興に関する基本方針」を踏まえ策定
- 計画期間 令和3年度から令和7年度
- 主な施策 漁場環境の再生、水産資源の回復、水産物の需要拡大、人材の育成・確保等、内水面漁業の振興に必要な施策を総合的に推進

漁場環境の再生

- ・排水に対する監視・指導
- ・森林の整備及び保全
- ・水産動物の生息環境の保全等を考慮した頭首工の整備
- ・環境・生態系の保全活動の推進 など

資源回復

- ・アユやアマゴ等の種苗放流の支援、アユ産卵場造成の支援、ウナギの資源管理の推進
- ・漁協等が実施するカワウ捕獲の支援
- ・アユ冷水病対策としての放流種苗の保菌検査やワクチン開発 など

水産物の需要拡大

- ・販路拡大の支援
- ・地域資源を活用した加工品開発の支援
- ・魚の旬や食べ方に関する情報発信 など

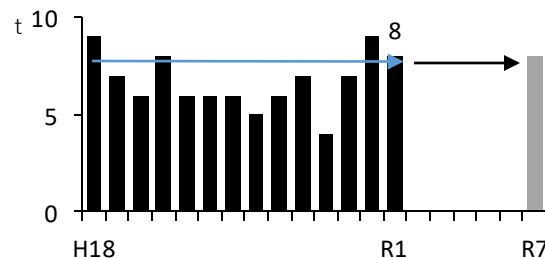
人材の育成・確保

- ・遊漁者拡大の取組の情報発信（フライフィッシングスクール等）
- ・漁協の経営基盤強化・指導
- ・漁協が行う研修会や各種教室等の取組の推進 など

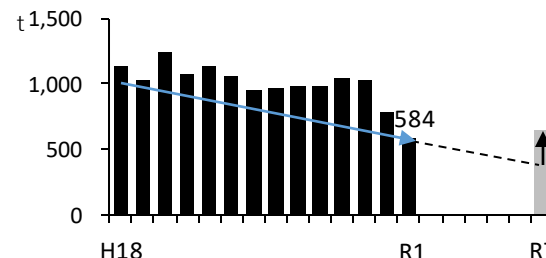
目標

内水面の資源は枯渇しやすく、またアユ養殖生産量及び組合員数・遊漁者数(アユ)は減少傾向にあることを踏まえ、次のように目標を設定する。

◆内水面漁業生産量:現状維持



◆アユ養殖生産量:1割増加



◆組合員数・遊漁者数(アユ):現状維持

